

2016 年度第 1 回湖鳥会理事会議案

日時：2016 年 8 月 27 日（土）16:00-18:00

場所：鳥取大学地域学部サテライトキャンパス SAKAE401（鳥取市栄町 401 本通ビル 3 階）

報告事項

1. 2014 年度第 1 回湖鳥会理事会議事録（理事会 2016-1-2）
2. 2015 年度活動報告（理事会 2016-1-3）
3. 2014 年度，2015 年度各期役員について（理事会 2016-1-4）
4. 2015 年度会計報告（理事会 2016-1-5）
5. その他

審議事項

1. 2016 年度理事会役員について（理事会 2016-1-6）
2. 工学部 50 周年記念事業の寄付について（理事会 2016-1-7）
3. 2016 年度の活動について（理事会 2016-1-8）
4. 2016 年度予算案（理事会 2016-1-9）
5. 湖鳥会の今後の活動について（理事会 2016-1-10）
6. その他

2014 年度第 1 回湖鳥会理事会議事録

日程：2015 年 2 月 6 日 19:00-20:30

場所：鳥取大学広報センター2 階スペース C

出席：役員 4 名，湖情会幹事 1 名

審議事項

1. 湖鳥会及び湖情会（知能情報工学科同窓会）の合併について
湖鳥会会則変更による合併が承認された。
2. 合併スケジュール
下記スケジュールが承認された。
 - (1) 3 月 14 日（土）：湖鳥会総会（15:00-:総会(工学研究科大講義室), 17:00-:懇親会)
 - (2) 4 月 1 日（水）：名称変更，（仮）電気情報系学科同窓会発足
 - (3) 4 月以降：2015 年度第 1 回理事会
3. 同窓会名称について
下記名称への変更及び通称が承認された。
 - ・名称：鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会
 - ・通称：湖鳥会
4. 会計（資産移行，入会金等）について
会計について下記が承認された。
 - ・2015 年 3 月末までは各同窓会で管理する。湖情会の資産を 4 月 1 日付で湖鳥会会計へ組み入れる。
 - ・入会金：これまで通り卒業，修了時期に 1 人 5,000 円を徴収する。
5. 役員について
下記が承認された。
 - ・会長：吉田氏が留任
 - ・副会長は旧湖鳥会から 1 名，旧湖情会から 1 名選出。
 - ・川端氏：留任（東京大同窓会（予定）を担当）。安木氏，豆田氏：副会長退任，理事就任
 - ・監事は旧湖鳥会から 1 名，旧湖情会から 1 名。
 - ・松岡氏：留任。井上氏：監事，理事の退任
 - ・名称を監事から監査に変更。
 - ・幹事は電気情報系学科の前身学科出身の教員（学内幹事）並びに旧各同窓会幹事の留任。
 - ・各期卒業生代表として各期役員を設置する。
各期代表制度が制定される前の 2006 年度以前についてはさかのぼって任命しない。
6. 会則変更について
学科名称変更に伴う会則変更などが承認された。変更事項などは別紙参照。
7. 特別会計について
特別会計を解消し，一般会計に組み入れることが承認された。

報告事項

1. 今後の活動

- ・4月以降：会報発行
- ・工学部50周年記念事業協力

2. その他

- ・今後ホームページの更新を頻繁に行う。

2015 年度活動報告

1. 入会手続及び各期役員選出

学内幹事主担当：笹岡，笹間，大木

入会状況：

学部	電気電子工学科卒業生	57名
	知能情報工学科卒業生	48名
博士前期	電気電子工学コース	30名
	知能情報工学コース	2名
合計		137名

2. ホームページ更新

学内幹事主担当：笹岡

3. 事務処理（会計等）

学内幹事主担当：笹岡

各期役員（卒業生代表者）一覧

●2012年度入学（2015年度卒業生）代表者

三好 雄也（第24回電気電子）
市橋 翼（第24回電気電子）
高山 隼輔（第24回知能）
八木 良太（第24回知能）

●2004年度入学（2007年度卒業生）代表者

河野 光（第16回電気電子）
稲垣 雄介（第16回電気電子）

●2011年度入学（2014年度卒業生）代表者

青木 智宏（第23回電気電子）
服部 雅史（第23回電気電子）
中川 剛毅（第23回知能）
澤田 拓也（第23回知能）

●2010年度入学（2013年度卒業生）代表者

井上 涼太（第22回電気電子）
畑山 進也（第22回電気電子）

●2009年度入学（2012年度卒業生）代表者

横田 瑛三郎（第21回電気電子）
本山 達也（第21回電気電子）

●2008年度入学（2011年度卒業生）代表者

森山 拓洋（第20回電気電子）
秋山 章雅（第20回電気電子）

●2007年度入学（2010年度卒業生）代表者

安田 圭佑（第19回電気電子）
前島 隆之（第19回電気電子）

●2006年度入学（2009年度卒業生）代表者

田中 隼人（第18回電気電子）
三田 睦（第18回電気電子）

●2005年度入学（2008年度卒業生）

北見 尚久（第17回電気電子）
田中 健（第17回電気電子）

湖鳥会理事会役員一覧

1. 幹事及び理事の就任, 退任について

・就任

- 【幹事】 吉村 宏紀 (第1回知能)
【理事】 小林 盛一郎 (第14回電子)

・退任希望 (保留)

- 【理事】 藤井 漣士 (第1回電気)

2. 2016年度理事会役員 (案)

- 【会長】 吉田 和行 (第4回電気)
【副会長】 川端 哲男 (第2回電気)
堂前 靖彦 (第7回知能)
【監査】 松岡 良明 (第1回電気)
安藤 泰正 (第20回知能)
【幹事】 加納 尚之 (第17回電気)
岸田 悟 (第4回電子)
北川 雅彦 (第3回電子)
田中 堅太郎 (第7回電子)
藤村 喜久郎 (第14回電子)
西浦 順一 (第15回電子)
有岡 正登 (第17回電子)
大木 誠 (第18回電気)
安東 孝止 (第3回電気)
笹岡 直人 (第10回電気電子)
吉村 宏紀 (第1回知能)
笹間 俊彦 (第3回知能)
【理事】 藤井 漣士 (第1回電気) 「保留」
松本 昭夫 (第2回電気)
安木 秀明 (第3回電気)
奥田 和基 (第4回電気)
山下 政美 (第4回電気)
石田 義則 (第5回電気)
畑 博道 (第5回電気)
川上 孝志 (第6回電気)
深田 哲司 (第6回電気)

原田 光夫 (第7回電気)
清水 恵 (第9回電気)
宮脇 一彦 (第9回電気)
大賀 昌二 (第10回電気)
表 則夫 (第13回電気)
岸田 達治 (第14回電気)
竹内 克徳 (第14回電気)
吉田 清春 (第15回電気)
米村 幸雄 (第16回電気)
里 友成 (第17回電気)
山方 秀則 (第17回電気)
立花 慶治 (第18回電気)
山根 一博 (第18回電気)
原 雅人 (第19回電気)
豆田 順一 (第1回電子)
村上 博 (第1回電子)
寺谷 茂樹 (第3回電子)
栗本 保夫 (第5回電子)
山根 幹仁 (第6回電子)
岡本 公夫 (第8回電子)
河原 宏之 (第8回電子)
桑田 孝明 (第8回電子)
岡垣 光則 (第9回電子)
原川 藤夫 (第10回電子)
三木 公保 (第11回電子)
椎木 正敏 (第12回電子)
西村 晋 (第13回電子)
小林 盛一郎 (第14回電子)
福島 淳 (第14回電子)
村上 誠 (第18回電子)
吉田 幹也 (第5回知能)
玉川 裕康 (第8回知能)

*参考

【顧問】 鷺見 育亮 (第1回電気)
菅原 一孔 (電気情報系学科長)

(敬称略)

鳥取大学工学部 創立 50 周年記念事業 「工学部育英基金」 募金趣意書

50th Anniversary | Faculty of Engineering Tottori University

鳥取大学工学部は昭和 40 年(1965 年)4 月に山陰地方初の工学部として創立され、平成 27 年(2015 年)に創立 50 周年を迎えます。この半世紀の間、鳥取大学工学部の教育・研究に対し、温かいご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

私たちは、これまでの半世紀にわたる研究実績のもと教育・研究の発展・充実に努め、次の 50 年先には、さらに進化した鳥取大学工学部として創立 100 周年を迎える所存でございます。研究面では、次世代の多様な社会ニーズへの対応に向けた新たな学術分野として、医工学、農工学、地域工学などの融合型研究を展開し、多くの世界的な研究成果を創出することにより産業界の発展に貢献してまいります。また、教育面では、今後とも技術者養成教育の量と質の向上化を図るとともに、鳥取大学工学部から次の世代を担う、世界で活躍できるグローバルマインドを持った優秀な工学系人材の輩出を継続的に実践遂行することを目標に邁進する所存でございます。

現在、鳥取大学では国外の大学における短期語学研修や長期の海外研修派遣、さらには数ヶ月～1 年の研究研修プログラムといった海外派遣制度を設け、グローバル教育の機会を学生に提供してきています。工学部の学生の参加人数は年々増加してきていますが、それでも奨学制度の制限から年間で 40 名程度が現状であります。これらの海外派遣制度は全ての学生に参加機会が与えられるべきものですが、公的機関からの奨学制度には限界があります。

この度の皆様からの募金による「工学部育英基金」は、グローバル教育としての海外派遣のための経済的支援制度をできる限り多くの鳥取大学工学部の学生に提供することを目的としています。また、科学立国としての我が国の工学分野では、高度専門教育のもとで医工学、農工学、地域工学など融合型研究を通じて多分野横断的視野とテクノロジーを実践的に駆使できる博士後期課程の学生への社会ニーズも大いにあります。現在、本学部博士前期課程の修了生においては経済面を理由に博士後期課程への進学を断念し、就職する者が毎年のようにおります。「工学部育英基金」は、そのような学生の博士後期課程就学支援としても活用させていただきます。なお、皆様からの募金の一部は 50 周年記念誌発行や記念式典等にも使用させて頂く予定です。

関係の皆様におかれましては、厳しい経済状況の折り誠に恐縮に存じますが、「工学部育英基金」の趣旨をご理解、ご賛同いただき、格別のご支援とご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

平成 26 年 11 月吉日

鳥取大学工学部創立 50 周年記念事業委員会委員長
鳥取大学工学部長／大学院工学研究科長
河田 康志 (発起人代表)

募金の名称／「鳥取大学工学部育英基金」

募金目標額／7,000万円

募金額／(1)個人の場合 一口 5千円

(2)法人の場合 一口 10万円

※できましたら複数口のご協力をお願い申し上げます。また、一口未満のご寄附もありがたく拝受いたします。

募集期間

平成26年12月～
平成28年3月末

顕彰／ご寄附を賜りました方は、芳名録を作成し永くとどめさせていただきますとともに、ご承諾をいただければホームページにご芳名、法人名等を掲載、また、ご寄附の額に応じて次の顕彰等をさせていただきます。

- 50周年記念誌の贈呈(寄附金額が、個人2万円以上、法人10万円以上)
- ご芳名、法人名等を刻印した銘板を作成し、工学部構内に顕彰(寄附金額が、個人5万円以上、法人50万円以上)

50th Anniversary

Faculty of Engineering
Tottori University



募金方法、税制上の優遇措置を含めて、下記の鳥取大学工学部創立50周年記念事業ホームページに掲載しています。是非一度、ご覧下さいませようお願い申し上げます。 <http://eng.tottori-u.ac.jp/>



鳥取大学工学部 50年の歩み

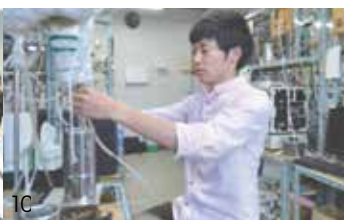
鳥取大学工学部は、昭和40年代当初に機械工学科、電気工学科、工業化学科、土木工学科の4学科で発足しました。その後大学院修士課程の新設、学科の増設、大幅な学科の発展的改組、そして大学院博士課程の新設を行い、平成7年には現在の機械工学科、知能情報工学科、電気電子工学科、物質工学科、生物応用工学科、土木工学科、社会開発システム工学科、応用数理工学科の8学科体制となり、学部学生定員合計450名、博士前期課程学生定員153名、博士後期課程学生定員21名を有する規模となりました。学部学生、博士前期課程・後期課程の大学院生を合わせ、この半世紀で約2万人の卒業生・修了生が鳥取県をはじめ日本全国及び世界に巣立っており、工学系の様々な分野での中核的人材として活躍しています。

本学部の強みは、昨年度に文科省の指導のもとで全国国立大学法人における工学分野のミッション再定義で確認された、「伝統的工学と他の学問分野の成果を課題解決のため融合利用する総合学としての工学教育を実施している」とこと、「附属の5つのセンターを有する」ことです。すなわち、教育面では従来の伝統的工学分野に立脚しつつ、時代のニーズに即した幅広い工学系人材養成を強力に推し進めてきています。一方、研究面では、「ものづくり教育実践センター」、「電子ディスプレイ研究センター」、「地域安全工学センター」、「グリーン・サステナブル・ケミストリー研究センター」、「先端融合研究センター」が多岐多様にわたる工学系分野の中心的研究を担っています。

平成27年4月1日には、本学部のミッションの強みを十二分に活かし、激変する時代のニーズや社会の要請にさらにタイムリーに応えるため、現在の8学科を再編成し、次世代の工学系人材が養成できる新しい機械物理系学科(定員115名)、電気情報系学科(定員125名)、化学バイオ系学科(定員100名)、社会システム土木系学科(定員110名)という4学科に刷新します。この学科再編のキャッチフレーズは、「未来の工学(研究)、わかる工学(教育)、役立つ工学(実践)」です。



〈写真上〉昭和46年当時の工学部棟建設風景
〈写真下〉現在の工学部棟



2016 年度湖鳥会活動予定

1. 広報誌発行
学内幹事主担当：大木，笹間

2. 活性化のための検討
学内幹事主担当：岸田，笹岡，吉村

3. 入会手続及び各期役員選出
学内幹事主担当：笹岡，笹間，大木

4. ホームページ更新
学内幹事主担当：笹岡

5. 事務処理（会計等）
学内幹事主担当：笹岡

湖鳥会の今後の活動について

- ・活動案（例）
 - ・卒業後 20 周年同窓会開催支援活動（横の繋がり）

 - ・理事会開催日程の固定：毎年 6 月第 3 土曜日（縦の繋がり）

 - ・総会定例開催：隔年～数年に一度 9 月第 4 土曜日（縦の繋がり）

 - ・現役学生への支援（将来の同窓会活性化のため）
 - ・就職活動支援
 - ・新入生歓迎会主催

 - ・事務補佐員雇用